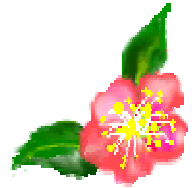


船橋 YMCA 通信



No.69 2012年11月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



チャリティーラン開催

第15回千葉YMCAチャリティーランは、10月20日(土)に夏見台にある船橋市運動公園の特設コースで開催されました。

今回は、前年と違って快晴の秋空のもと駅伝を行うことができました。今年から新たに加えた二人一組で陸上競技場のトラックを2周走る“なかよしラン”には4組のエントリーがありました。



《今年もチーバくんが応援に来てくれました》



《千葉YMCA OBチームのゴールシーン》

今回から千葉YMCAのリーダーOBチームが参加費を払ってエントリーして、6人で駅伝を走りました。このチームには、大会を大いに盛り上げたということで特別賞が授与されました。

また、今回から千葉英和高等学校の吹奏楽部の皆さんが応援に駆けつけてくださり、抽選会の前日の昼休み時間は、スウィングな演奏にのりのりの参加者も見受けられました。



《大会終了後参加者全員で記念撮影をしました》



《千葉英和高等学校の吹奏楽部の皆さん》

今回の大会は、駅伝に25チームのエントリーをいただきました。また、参加費3万円をお支払いいただいたスポンサー企業・団体は、全国オフィシャルスポンサーの三菱商事株式会社と富士通株式会社以外に16組織になりました。

本大会の総収入は953,993円で、この中から大会運営費を除いた収益金は706,946円になりました。

この収益金は、全国YMCA障がい児プログラムの支援、千葉YMCA障がい児活動への寄付および船橋市内障がい児・者支援活動および施設への寄付に使われます。

飯山満小で障がい体験教室

10月11日(木)に飯山満小学校(船橋市飯山満町3-1394-3)で障がい体験教室が開催されました。

今回は4年生130名が対象で、車いす体験を行いました。ご協力いただいたボランティアの方々は、船橋市障害者友の会3名、車椅子ダンス普及会矢草10名と千葉YMCA高等学院の生徒と教師10名でした。ご協力に感謝いたします。



《車いすで狭いコースを抜けていきます》

車いす体験は、学校の体育館に跳び箱の踏み切り板と体操マットとパイロンを並べたコースを3つ作って、二人一組で各々車いすに乗る体験と車

いすを押す体験を交代でしました。

最後は、一人で車いすを操作する体験もしましたが、少しの段差でも乗り越えるには人の手助けが必要でした。

秋のわいわいフェスティバル

10月28日(日)に千葉県長生郡長柄町にある「千葉市少年自然の家」で開かれた“秋のわいわいフェスティバル”に、船橋YMCAのお店を出しました。今回もYMCA学院高等学校の生徒達が売り子として活躍してくれました。



《このテントが船橋YMCAのお店です》

商品は、瀬戸物などの日用品や子どもたちの好きなぬいぐるみやシールといった、あまり値の張らないもののみの販売でしたが、総売上は9,250円になり、全額をYMCAの国際協力募金に寄付しました。

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの9月、10月の活動記録です。

- ・9月6日(木)千葉YMCA常議員会
- ・9月10日(月)チャリティーラン事務局会
- ・9月15日(土)チャリティーラン実行委員会
- ・9月29日(土)千葉YMCA国際事業委員会
- ・10月9日(火)チャリティーラン事務局会
- ・10月13日(土)チャリティーラン実行委員会
- ・10月20日(土)第15回チャリティーラン
- ・10月28日(日)秋のわいわいフェスティバル

場所：千葉市少年自然の家

編集後記

チャリティーランは、今年で15回目ですが過去に台風直撃で中止が1回、雨天で駅伝中止が2回ありました。今回は晴れて駅伝を行うことが出来て幸せでした。

(横)